

〔派 遣〕

派遣研究者 九州工業大学大学院 工学研究科 機械知能工学専攻 博士後期課程3年 山口 生 1062107
研究集会名 2006 IEEE International Conference on System, and Cybernetics (SMC'06)

出張期間 平成18年10月8日 ～ 11日
開催場所 中華民国 台北市
発表論文 モバイルモーションキャプチャー法による一時的なイベントの3次元モデル化
(A Mobile Motion Capture Technique Excelling in 3-D Modeling of Temporary Events)

概 要

IEEE SMCは毎年開催されており、システム工学、マンマシンインターフェース、サイバネティクス等、大変幅広い分野の研究者が一堂に会し、人と機械と知能に関する高水準の研究発表及び討論が行われる国際会議である。今回は、「マンマシンシステムとサイバネティクスのための情報技術の創生」というテーマのもとで開催され、全世界45カ国から1304件の論文投稿があり、800件のオーラルセッション発表、121件のポスターセッション発表が採択された。

私は、「Image Processing 2」セッションで標記題目の発表を行った。この発表には、セッション内で最も多くの方に聴講いただき、また内容についても大変好評であった。原理の詳細は数式を用いて理論的に説明し、その他の部分は多くのアニメーションを用いて分かり易く発表することに尽力した甲斐があり、特徴等を十分理解してもらえたと感じている。セッション終了後にも聴講者の方々から直接の質問やコメントを賜り、提案法の特徴や詳しく原理等について回答を行い意見交換することができた。我々の発表内容に対する関心の高さを感じることができ、大変有意義な発表となった。また、同会場で催されたStudent Receptionにも参加し、多くの同年代の学生や研究者と互いに研究や自の文化等について楽しく交流することができた。

最大の収穫は、同じ分野の研究を行っている世界各地の研究者に我々の研究成果を発表することができたことと、彼らと意見交換や異文化交流が図れたことであると思います。今後もこの貴重な経験を活かして研究に励んでまいります。